

〔曲名〕 Tramonto d'Estate sul Monte Tonale

Paesaggio Cantilena Preghiera

トナーレ山の夏の夕暮れ

〔曲種〕 impressioni

〔作曲者〕 Simone Salvetti

シモーネ サルヴェッティ

〔編曲〕

作者サルヴェッティの生地生年に就いては知ることができないが別表作品表に見られる通り

1900年から1927年にかけて数多くの作品が発表せられているので大凡そ1870－1880年頃の生年と推定出来る。

1937年ミラノのイル・プレットロ9月号報道欄に

「パヴィアのマンドリンオーケストラはヴェンテューラ氏の指揮で別荘住まいの人たちの大きな集りに演奏会を開き、

ヴェルディ、チマローザ、マスカーニ、プッチーニの作品の断片と故S.Salvetti氏の作品、祈りと舟遊びが演奏された」とあり

亡くなって間もないことを示しているが、イタリアの著作者名簿には登録されていない。

1926年頃スイスのベルンにS.Salvettiマンドリン合奏団があり、

会長はE・ボリアーニであるが作者の名を冠したところに何等かの関連がありそうであるが極め難い。

作品はいづれも抒情的な色彩と火のようを情熱と気品に定評があり本邦の斯楽でも初期には親しまれた作品が多い。

本曲トナーレ山の夏の夕暮れは1922年ボローニアのイル・コンチェルト誌上に発表を見たもので、眺望、小唄、祈りの三章から成っているが続けて演奏される。

「陽は西に傾き夜の帷は将に下りようとしている。

遥かに鐘の音が聞えてくる。

村娘と若者たちは歌を歌いつつ夫々の家路につく。

やがて夜の祈りが始められる。

崇高神秘なかぎりなき眺め」

之は作者が冒頭に記したものであるが、

トナーレ山はイタリアのカモニカ高原に聳える海拔2000メートルの山で旅人もしばし脚を留める景勝の地。

かの欧州第一次大戦の時には激戦のあった所として知られている。

ジァチント・氏に贈られている。

本曲集第五集の牧人の夢の作者アンジェロ・マッツォーラとは別人。

原曲には数ヶ所ミスプリントがあるので訂正しておいた。

1970年7月20日発行

イタリアマンドリン百曲選第7集より